

19) 航空障害灯の工事は人力作業を基本とする。

航空障害灯の工事は人力作業を基本とし、航空障害灯及び埋設ケーブル設置に伴う改変面積は、極めて小さい規模となるようにする。

20) 伐採樹木については、事業実施区域内でチップ化し、マルチング材に可能な限り利用する。

21) 小型コウモリ類については、石垣島全体が小型コウモリ類の生息地であり、小型コウモリ類の個体数を将来とも衰退させることなく、維持するためには事業実施区域周辺のみにとどまらず、石垣島全体で考慮していく視点が重要であることから、長期的な視野で以下に示す環境保全配慮を行う。なお、環境保全配慮の検討・実施に当たっては、専門家の指導・助言を得ながら、適切に講ずるものとする。

・人工洞の設置

石垣島の小型コウモリ類は、戦時中に造られた人工洞も利用している。そこで、事業実施区域周辺の洞窟群に生息するコウモリ類の緊急避難場所となる洞窟の選択肢を増やすため、事業実施区域周辺の小型コウモリ類3種が棲み分けられるような人工洞を設置する。小型コウモリ類は、人工洞の設置直後から利用するとは限らないため、可能な限り早期に設置することとする。

・ボックスカルバートの利用のための工夫

・真栄里ダムのトンネルをより有効に活用するための工夫